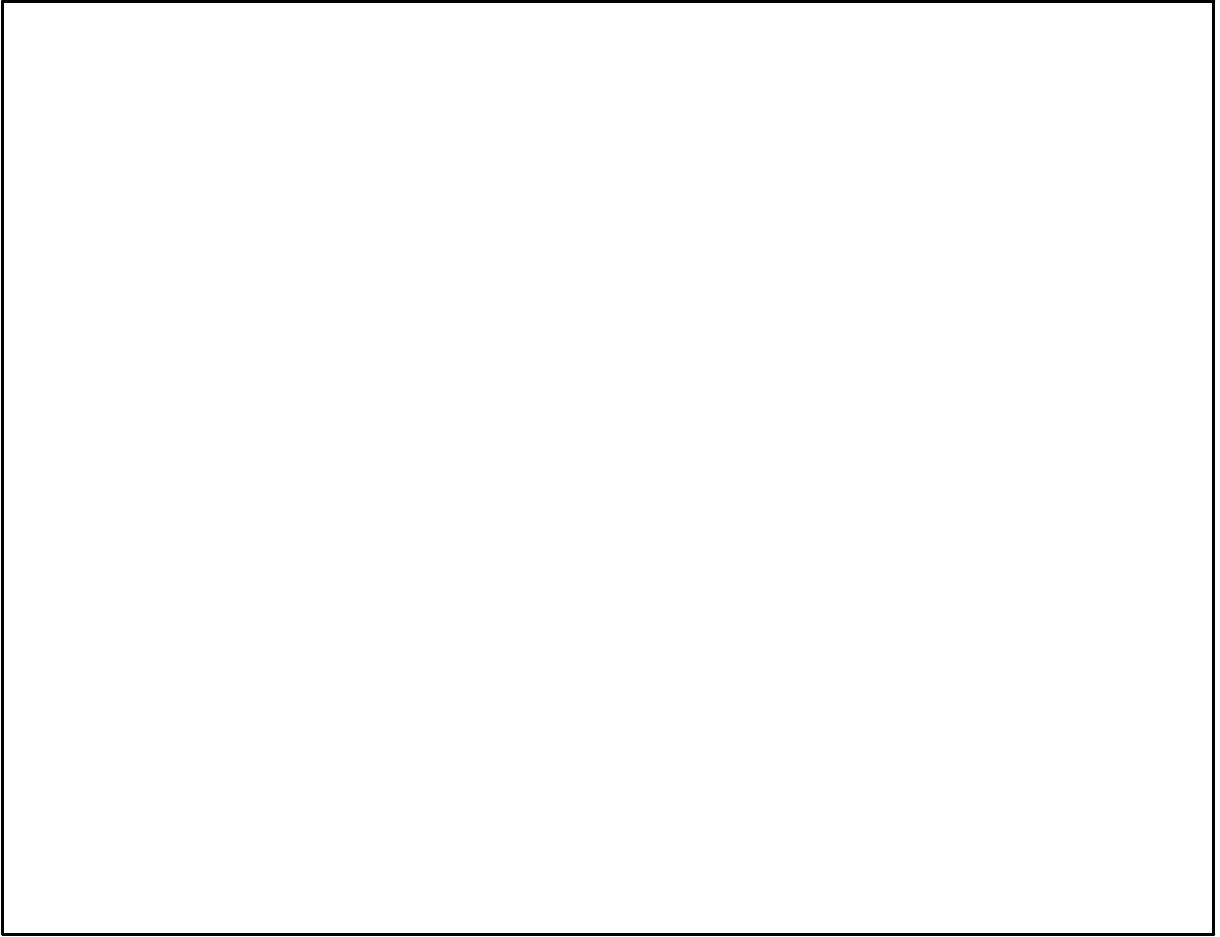


一 次の文章を読んで、後の(一)から(七)までの問いに答えなさい。

出口治明(でぐちはるあき)『人生を面白くする本物の教養』の一節





(一) 「A」、「B」にあてはまる最も適切なことばを、次のアから力までの中からそれぞれ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア しかも イ ところが ウ つまり エ また
オ しかし カ なぜなら

(二) ^① わが国の教育は本来の機能を取り戻す必要がある とあるが、筆者の考える「教育の本来の機能」を七十字以上八十字以下で説明しなさい。ただし、「人間」、「自分」、「知識」という三つのことばを使って、「教育の本来の機能は、……」という書き出しで書くこと。三つのことばはどのような順序で使ってもよい。

(注意) ・句読点や「」も一字と数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

・次のページの枠を、下書きに使ってもよい。

(三) ^② には「抽象」の対義語が入る。正しいものを漢字二字で、答えなさい。

(四) ^③ まったく教養不足としか言いようがありません とあるが、筆者がそのように言う理由として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 白票も現状にノーを突きつける意思表示になるということを知らないことになるから。

イ 棄権は意中の候補者がいないことを示す行為だということを知らないことになるから。

ウ 白票や棄権は有力候補者に投票するのと同じだということを知らないことになるから。

エ 北欧で子どもたちが選挙について教わっているということを評論家さえ知らないから。

(五) ^④ そう考えていた とあるが、その内容の書いてある一文を文章中からそのまま探し出して、始めの五字を書きなさい。

(六) 第十四段落・第十五段落の内容について書かれているアからエまでの文章のうち、本文の内容と一致しないものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア これまでの政体の中で民主主義が最も優れた政体と思いがちであるということ。

イ 歴史上において民主主義が一番悪い政体であった時代が最も長く続いているということ。

ウ 日本の学校教育は民主主義の本質が教えられているとは言えないということ。

エ 候補者のレベルが低いので投票する気がないという考え方は民主主義的ではないということ。

(七) この文章の特徴として適当なものを、次のアから力までの中から二つ選び、そのかな符号を書きなさい。

- ア 必ず反論を想定した上で複数の根拠をあげ、自分の意見の説得力を高めている。
- イ 最初に結論を提示し、その根拠を複数の例で詳しく説明しながら展開している。
- ウ 反対意見の誤りを最初に提示して、自分の意見の独自性を客観的に示している。
- エ 例や引用を効果的に使用して自分の考えに対する根拠を示し、意見を展開している。
- オ 問いかけとそれに対する答えとを繰り返し、少しずつ自分の意見を明らかにしている。
- カ 一般に当たり前とされていることを見つめ直し、丁寧な分析から自分の主張を伝えている。

※ 左の枠は、(二)の下書きに使ってもよい。ただし、解答は必ず解答用紙に書くこと。

							教
							育
							の
							本
							来
							の
							機
							能
							は
							、

二 次の(一)、(二)の間に答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 廊下で先生とすれ違ったので会釈をした。

② 生徒会が二〇一九年度の新入生カンガイ会を計画中だ。

(二) 次の③の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

③ コンクールに出品予定の作文を先生にテンサクしていただいた。

ア 彼は非常に真面目な性格で、テンケイ的な日本人といえる。

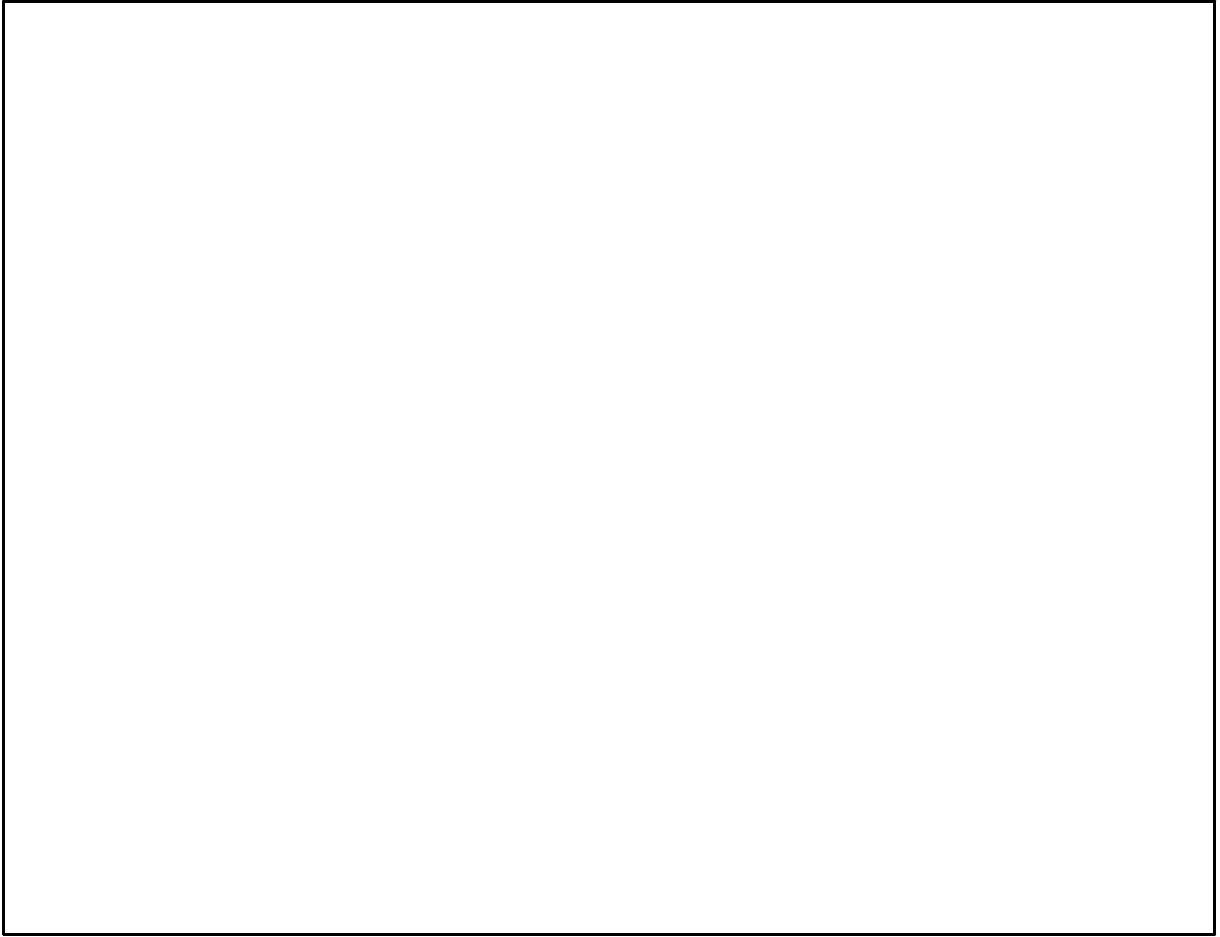
イ 新学期を迎えて、本校にテンニュー生が来ることになった。

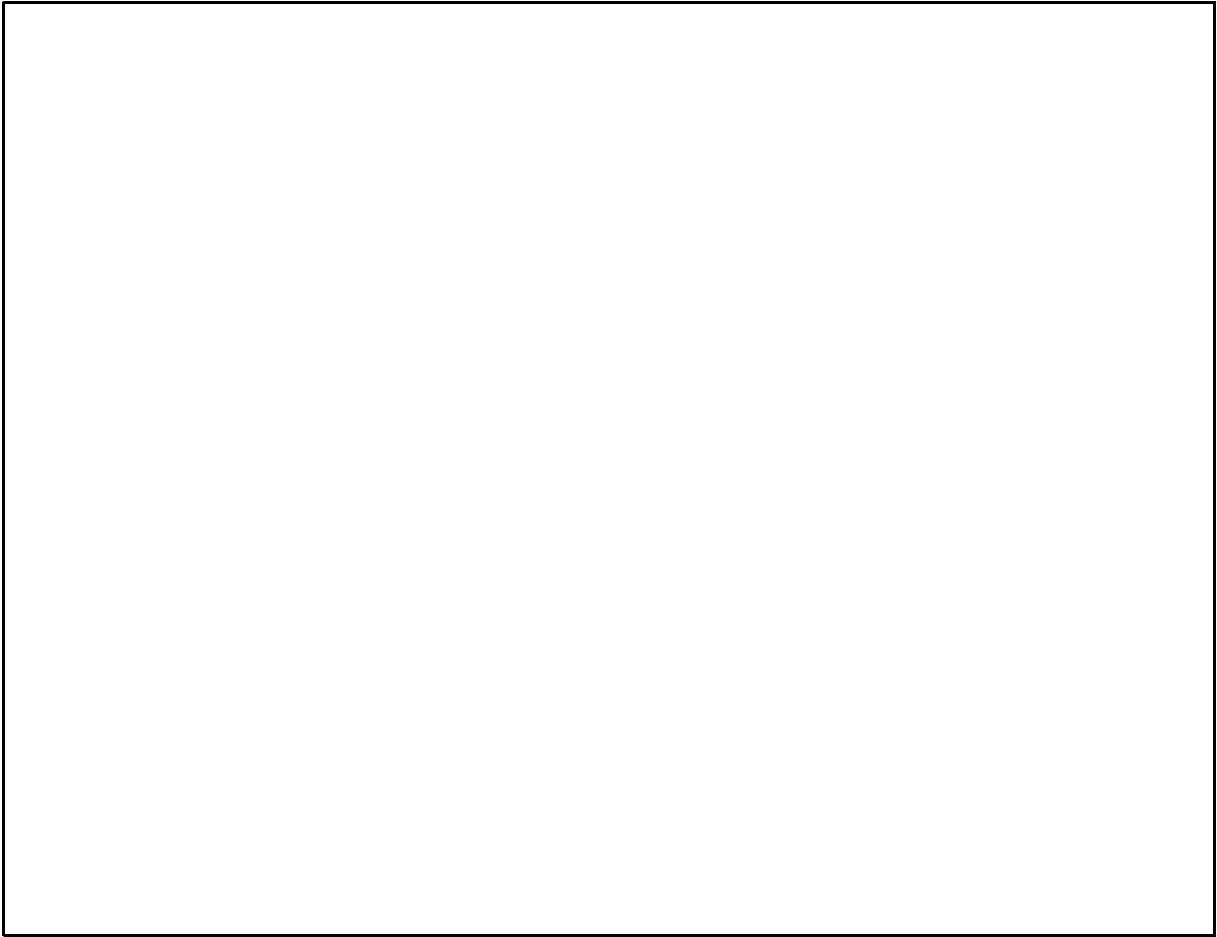
ウ 名画ばかりを集めた大規模なテンラン会が企画されている。

エ 必要なデータの入ったファイルを、メールにテンブした。

三 次の文章を読んで、後の(一)から(六)までの間に答えなさい。

鎌田浩毅(かまたひろき)『理科系の読書術』の一節





- (一) ① にあてはまる最も適切なことばを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。
- ア 一方 イ よって ウ 反面 エ ただし
- (二) ② に入る文として最も適切なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい
- ア 有珠山に希望が見えてきたようだ
イ 有珠山に大変なことが起こりそうだ
ウ 有珠山の噴火は当分の間なさそうだ
エ 有珠山の地震予知はやはり無理なのだ
- (三) 第八段落では問題提起がなされているが、これに対する答えの書かれた段落を第九段落以降から探し、その段落符号で答えなさい。
- (四) ③ 官僚の文章には型というものがある とあるが、それはどのようなものか。最も適切なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。
- ア 前例にとらわれず、保守的なフレームワークを重視するもの。
イ 決まり文句を機能的に利用し、相手の関心に近づけるもの。
ウ フレームワークを維持するために、あえて前例を破るもの。
エ すでにある例を受け継ぎ、それを保って伝えていくもの。
- (五) 第十八段落から第二十段落の関係について書かれたものとして、最も適切なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書

きなさい。

ア 第十八段落で述べた筆者の意見の結論が、第二十段落に詳しく書かれていた。

イ 第十八段落で述べた内容を、第十九段落・第二十段落の具体例でさらに詳しく確認している。

ウ 第二十段落は具体例であり、第十八段落の筆者の意見を説明するための段落である。

エ 第二十段落は具体例であり、第十九段落の筆者の意見を補強する役割をもつ段落である。

(六) 次のアからオまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア フレームワークはそれぞれ異なるが、その違いを意識することでコミュニケーションをより円滑にすることができる。

イ 相手の関心に関心を持つためには、自分のフレームワークを変化させて相手と同じものにする必要がある。

ウ フレームワークは一種の型であり、その型を崩すことで誰でも難解な文章を読むことも書くこともできるようになる。

エ ラベルを読み解くことで、ことばに対する筆者の思い込みを正しいものに修正して読むことができる。

オ 人は固有のフレームワークで物事を考えており、これが異なる人と意思の疎通することは不可能である。

四 次の古文を読んで、後の(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

〔本文にいたるまでのあらすじ〕 大和の国に竜門の聖という僧がいた。彼の知人で、鹿を射る男が照射(夏の夜、松明で鹿をおびきよせ射る狩猟法)に出かけた。たまたま出会った鹿の目が普通と違うことに気づき、近づいて確かめると、法師の頭が見えた。

〔本文〕

こはいかにと見て、おり走りて火うち吹きて、しひをりとして見れば、これはどうしたかと思ひ、松明を明るくして見ると、

この聖、目うちたたきて、鹿の皮を引きかづきて添い臥したまへり。まばたきをして、かぶつて

①「こはいかに、かくてはおはしますぞ」と言へば、ほろほると泣きて、ほろほると涙を落とし

「わぬしが制することを聞かず、いたくこの鹿を殺す。我鹿に代はりておまえ、いくら何でも

殺されなば、さりともしはとどまりなんと思へば、かくて射られんと

して居るなり。口惜しう射ざりつ」とのたまふに、この男、ふしまるび

泣きて、「かくまでおほしけることを、あながちにしはべりけること」(鹿を無理にでも殺してしまいましたこと)です

とて、そこにて、刀を抜きて、弓たち切り、胡縲皆折り碎きて、髻切り

て、やがて聖に具して法師になりて、聖のおはしけるが限り、聖に使はれて、聖失^うせたまひければ、またそこにぞ行ひてあたりけるとなん。
修行^{しゆぎやう}をして

〔宇治拾遺物語〕による

(注) ○胡^{やなくひ}籙^{りく} || 矢を入れて持ち歩くための道具。

○髻^{もとどり} || 髪を頭の上に集め束ねたもの。

(一) 波線部アからエまでの中から、主語が他と異なるものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

(二) ① こはいかに に込められている気持ちの、その内容として最も適当なものを次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 松明で突然に明るく照らしてくるとはどうしたことだ

イ 聖がまばたきをして鹿を見下ろしているのはどうしたことだ

ウ 聖が鹿の皮をかぶって鹿と寝そべっているのはどうしたことだ

エ 男が突然ぼろぼろと涙を落とし泣き出したのはどうしたことだ

(三) ② 口惜^{くしやく}しう射^{しやう}ざりつ とあるが、ここから聖のどのような気持ちを読み取ることができるか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 鹿をかばおうとしたが、その鹿が男に射られてしまったことを悔やしく思う気持ち。

イ 鹿の代わりに射られようとしたが、男が射なかったことを残念に思う気持ち。

ウ 鹿のそばを離れて逃げようとしたが、男に射られてしまったことを驚く気持ち。

エ 鹿を狙う男を弓で射たのに、惜しくも命中しなかったことを恥ずかしく思う気持ち。

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 男は射ようとした鹿に聖が寄り添っていたため、鹿を殺せなかった。

イ 男が止めるのも聞こうとしなかったため、聖は誤って鹿を殺してしまった。

ウ 聖の狙い通りにはならなかったものの、男は反省して鹿を殺すのをやめた。

エ 聖は男の弓や胡籙を破壊し、殺生を重ねてきた男に強く出家を求めた。

オ 狼を捨てた男は聖の死後すぐに出家し、この地を離れず修行を続けた。

